

2017 年度 EDU-Port 公認プロジェクト一覧

代表機関	事業名	概要
国立大学法人福井大学	<p>「福井型教育の日本から世界への展開」 アジア・アフリカ・日本の教師教育コラボレーション事業 【ASEAN、アフリカ諸国等（特にフィリピン、マラウイ）】</p>	<p>ASEAN・アフリカ地域における教師の成長を支える、21世紀の学校づくりと教師の学びのための専門職学習コミュニティ・ネットワークを創造する。そのために、両地域において国際ラウンドテーブルを展開するとともに、フィリピン・マラウイにおいて教職開発拠点校を形成する。さらに、これら活動を通して得られた知見から、日本の学校教育を支える授業づくり・学校づくりの実践交流の場として国際教職開発センターを設置する。</p>
日本教育工学会 EDU-Port プロジェクト	<p>カンボジア教員研修センターと日本をつなぐ、日本開発デジタル教材を活用した小学校英語研修と遠隔サポート 【カンボジア】</p>	<p>ICT教育の知見を有する日本教育工学会と内田洋行のICT教育環境整備力の産学連携体制で取り組む。 シェリムアップ国立教員研修センターにおいて、日本の教育資源であるデジタル英語教材を活用し小学校英語の指導法研修を行う。動画とリズムある教材で都市に比べ大変遅れている農村部の小学校英語をネットワークも活用しサポートする。本研修を通して、見せる、聞かせる、拡大する、比較するなどの情報機器の活用方法を定着させる。</p>

2017 年度 EDU-Port 応援プロジェクト一覧

代表機関	事業名	概要
国立大学法人岐阜大学	ミャンマーの大学基礎実験教育の教員研修システム構築 Phase 1. 物理学実験による 広い知識と深い洞察力の提供 【ミャンマー】	ミャンマーの大学の「基礎実験科学教育向上プロジェクト」の要請に基づき、岐阜大学と日本の教材機器メーカーの協働により、物理学分野において取り組む。アクティブラーニングを定着させる授業研究の研修への招へい・派遣を通じて、シラバス改善、実験書作成などへの支援をもとに、他教科や初等中等教育への適用も可能な、継続的に質の高い教育を保証する現地の大学教員を主体とする研修システムの構築を目指す。
国立大学法人名古屋大学	「日本型司法制度」支援を支える法律家育成のための新しい共通法学教育モデルの構築 【ウズベキスタン、モンゴル、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インドネシア】	日本の近代化の経験をアジア諸国の国づくりに積極的に活かし、日本政府が推進する「日本型司法制度」支援を支えるために、各国の法整備に貢献する法律家育成のための新しい共通法学教育モデルを構築する。これまで名古屋大学が設置した「日本法教育研究センター」で実施したカリキュラム・教材・教授法を検証し、日本国内の大学・企業間ネットワークであるコンソーシアムと連携し、同センター以外でも応用可能なものへと発展させる。
学校法人関西大学	ブータン王立大学の理工系カレッジへの4年制機械工学科設置支援による日本型工学教育の海外への展開 【ブータン】	50年以上前から継続実施されている日本による技術移転事業での技術継承では成果があるが、機器のメンテナンスなどがブータン国民の手でなされていない。これは、機械技術者不足によるためであり、理工系カレッジに4年制電気工学科のみが開設されているブータン王立大学では、現状を改善すべく2年前から4年制機械工学科の設置へ向けて意見交換を進めてきた。本年6月に設置許可が下りたことから、設置実現へ向けて支援を行う。

<p>学校法人芝浦工業大学</p>	<p>GTI コンソーシアムを活用した産学官連携グローバルPBLの国内外大学での定着【東南アジア】</p>	<p>芝浦工業大学が事務局を務めるGTI コンソーシアム（Global Technology Initiative Consortium）の活動の一環として、平成28年度は、本学が中心となり11件の産学官連携グローバルPBL（Project Based Learning）を実施した。本事業では、それらの数を増やし、国内及び国外の理工系大学の国際産学連携活動へ寄与する。また、現在は本学が中心となり運営しているプログラムを、国内及び東南アジアを中心とした協定大学が主体となり運営する仕組みを定着させ、それぞれの国や大学が必要とする人材育成に貢献する。</p>
<p>株式会社 教育と探求社</p>	<p>ベトナムにおける、主体的・対話的で深い学びを実現する日本型キャリア教育の実践導入とその指導法支援【ベトナム】</p>	<p>ベトナムへ進出する日系企業が増加する中、現地人の人材確保において日系企業への理解不足が課題となっている。当社の現実社会を題材にしたキャリア教育プログラムを現地の若者に提供することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、自己のキャリア観を確立させ、日系企業への深い理解を促進する。また、指導法を教授することにより現地での持続的かつ広域への提供と雇用の創出を目指す。これらを通じて日越の経済発展に貢献する。</p>
<p>NPO 法人ジャパンスポーツコミュニケーションズ</p>	<p>「運動会ワールドキャラバン」プロジェクト【インド】</p>	<p>日本独自のスポーツ文化である“運動会”を世界中の学校で行い、日本文化の素晴らしさ、スポーツする楽しさを伝える。それと同時に運動会を通して、チームワークやルールを守ること、全力でがんばることなどを学んでもらい、教育的効果につなげていく。</p>
<p>一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム</p>	<p>「学校を核とした地域創生の海外展開モデル事業～ブータン学校魅力化プロジェクト～【主にブータン】</p>	<p>日本の辺境である海士町・島根県でモデルが生まれ、現在は全国に広がっている「学校を核とした地域創生（学校魅力化プロジェクト）」を、世界の辺境であるブータンから展開するプロジェクト。 地域・学校の協働による地域課題解決型学習や21世紀型寺子屋、地方留学等の展開により、地域の次代を担う人づくり及び都市部から地方への新たな人の流れを創出し、持続可能な地域づくりを推進する。</p>

<p> Bangladesh International Collaboration Promotion Meeting</p>	<p>デザイン思考教育を用いた Bangladesh の病院における問題の解決 【 Bangladesh 】</p>	<p>Bangladesh は人口の多い国であるが、医療システムは整っていない。たとえば医療現場で問題になっているのが診察までの待ち時間と、検査を受けるまでの患者の動きである。本事業では、九州工業大学、九州大学の協力のもと、現地の大学である Rajshahi University の学生と共に、デザイン思考を用いて実際に病院のシステム作りをする。1年目は観察から問題解決のための手法を確立し、2年目では実際に IT を用いたシステムを開発し病院で実践する。</p>
<p> 特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER</p>	<p>身体形成と芸術体験を融合させた日本型ダンス教育「創作ダンス」の海外輸出 【 香港、ルーマニア、韓国 】</p>	<p>70年前、学校体育の「ダンス」は、教材を教える学習から、自己表現を引き出す学習へ 180度の転換をした。 近年では、AIにはできない能力（身体で探る、イノベーション創出等）やコミュニケーション能力の育成に資する学習として再見されている。 本事業の目的は、香港をはじめとする殊に多様な価値観が存在する国々に創作ダンスを輸出し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献するグローバル人材の育成に資することである。</p>